

平成21年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	専修学校を核に教育界と産業界をつなぐ地域連携事業		
法人名	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会		
学校名			
代表者	会長 福田 益和	担当者 連絡先	西脇 康則 TEL 06-6352-0048
1. 事業の概要			
<p>おおさかの子どもたちが、英数国理社だけではない多様な進路から将来やりたい仕事や夢を早く見つけ出すことができるように、実践的な職業教育を通じて資質や能力を高め、「好きなことで一生食べていける力」を育てるとともに、子どもたちがその仕事に円滑に接続するための仕組づくりを行うため、地域の専修学校間、産業界、行政機関と連携体制を組んで、次の事業を展開する。</p> <p>①作戦その1～子どもと仕事の出会いの場 高校生が「将来の仕事」を考えることを支援するため、キャリアデザインに詳しい民間企業や専門家の協力を得て、仕事のやりがいや好きなこととのつながりについて考える職業人と交流するワークショップ『未来地図OSAKA2009』を開催する。</p> <p>②作戦その2～子どもと仕事をつなげる取組み 企業等が人材育成（職業能力開発）を専修学校に委託し、専修学校は企業等と協定等を行い、企業ニーズに沿って、専修学校での座学や企業実習を組み合わせた職業教育を計画的に実施し、コース修了生は、生徒が希望すれば企業への正規雇用への途が開かれる、大阪発「産学接続コース」を普及する取組みを実施する。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①開発したプログラム・教材・教育手法等の概要			
<p>①作戦その1：職業人と交流するワークショップ（未来地図OSAKA2009） 地域の専修学校や企業、行政機関が連携して、子どもたちが地域の様々な仕事を発見し、地域で働く職業人と交流できるワークショップを開催し、子どもが仕事に出会う場を提供する。</p> <p>②作戦その2：大阪発「産学接続コース」 産学接続コースの教育内容は、原則として「業界の養成に応えた教育カリキュラムを設定しているもの」、「その教育を受けた人材が、当該産業分野で活躍するための、設置コースと業界との接続度合いが強いもの」とし、大専各が大阪府の補助を受けて策定する「産学接続コースガイドライン」を活用し、地域の企業や専修学校の連携を促進し、若年者の人材育成、地域企業への就職を目指すものである。一定の要件を充足するものを「産学接続コース」として産業界・行政・専修学校などで構成する委員会で推奨し、地域人材の発掘、地域産業の活性化につなげる。</p>			

<p>②ニーズ調査等（手法・期間・効果）</p>
<p>「夢を持っている高校生の割合」は平成12年度76.3%であったのが、平成19年度では65.0%と11.3%の減となっている。（「将来ビジョン・大阪」）          このような中、高校生が「英国数理社だけではない多様な進路」の中から自分の進路（マイルート）を見つけることを応援するため、府内の全日制普通科の府立高校・私立高校10校（公・私立各5校）の新1年生約2,600人を対象に、①作戦その1を実施する。</p>
<p>③実証講座の状況</p>
<p>①作戦その1          平成21年8月1日に開始した職業人との交流するワークショップには、高校生約1,000人、職業人約70人が参加した。</p> <p>②作戦その2          大阪発「産学接続コース」の申請件数は、11校25コースであったが、事前審査の結果、書類不備等により1校3コースが審査見送りとなり、平成21年10月29日の大阪発「産学接続コース」推奨委員会で、10校22コースを推奨した。          （第2回目の推奨委員会は、平成22年3月25日に開催予定）</p>
<p>④その他</p>
<p>3. 事業の評価に関する項目</p>
<p>①目的・重点事項の達成状況</p>
<p>①作戦その1          事業計画時の動員目標数は750人としていたが、大阪府、大阪府教育委員会と連携し、事業を展開した結果、公・私立高校10校の1年生等、約1,000人が参加した。</p> <p>②作戦その2          平成21年度の「産学接続コース」は、フアッション、食、観光を中心に20コースの創設を目指し、500人（1コース25人）を育成することとしていたが、約1,600人を育成する22コースを推奨した。</p>
<p>②事業の成果</p>
<p>①作戦その1          「自分の興味がある輝くプロの話を知ろう！」コーナーでは、高校生たちはエリアごとに設置されたブースに掲げられた「好きっぷボード」のキーワードをもとに自分の興味のある輝くプロを探していく。みんな普段は聞けないプロの方々の貴重な体験談やアドバイスを真剣に聞き入れ、積極的にメモを取ったり質問をしていた。「好き」を仕事にしてい</p>

る輝くプロの方々も高校生に向けて真剣にお話をしてくださり、タウン全体が活気に溢れていた。

体験終了後の高校生アンケート「Q1 進路や職業についてどう思うか」に対する結果は、以下のとおりであった。

Q1-1 進路や将来の仕事についてもっと知りたい ⇒ そう思う 56%  
ややそう思う 28%

Q1-2 先輩の話をもっと聞きたい ⇒ そう思う 41%  
ややそう思う 32%

Q1-3 職業体験や職業に関するイベントに参加したい ⇒ そう思う 43%  
ややそう思う 29%

Q1-4 将来、仕事をするのが楽しみ ⇒ そう思う 47%  
ややそう思う 29%

Q1-5 「将来つきたい仕事」を決めている ⇒ そう思う 38%  
ややそう思う 21%

また、「Q2 イベントに参加して良かった点や、ご感想をお書きください」に対する結果では、大きく以下の6つの分類に分かれた。

〔6分類〕

◇考え方が変わった    ◇将来の役に立った    ◇自分の好きなこと等が分かった  
◇楽しかった    ◇色々は話が聞けて良かった    ◇その他

〔自由記述〕

- ・仕事は楽しくないと思っていたが、自分の興味を生かせば楽しいという事が分かった。
- ・プロの人の話を聞いて、仕事に対する気持ちが変わった。
- ・体験談を聞いて、将来に生かして行きたい。自分の好きな仕事に就きたと思っている。
- ・自分が知らなかった職業が沢山あったので、将来の仕事について視野が広がった。
- ・今後は実際に働いて体験がしたい。

これらから、体験を通じて新たな気づきがあった生徒や、将来に向けて自分なりの発見をした生徒が多くいたことが伺える。

②作戦その2

大阪発「産学接続コース」ガイドラインに沿って展開される専修学校教育について、平成21年10月29日の委員会で10校22コースを審査し、該当する教育内容を持つものを大阪発「産学接続コース」として推奨した。今回の推奨校は、既にモデル的に取組みを進めてきた学校も含まれており、企業・業界との接続部分が強く、多様な分野・教育内容にわたるものとなっている。推奨委員会の審査結果を報道提供したところ、大きな反響があり、多くの新聞に取り上げられた。

### ③次年度以降における課題・展開

①大阪版「職業アセスメント・プログラム」モデル事業として、モデル校10校の1年生を対象とした、職業教育イベント（専門学校卒業生によるガイダンス）及び職業体験学習を実施する。また、モデル校10校の2、3年生の希望者を対象として、高校生が多様な進路選択への道筋に踏み出す一歩を支援するため、

➢ジョブスキル・トレーニング（職業意識の向上につながる職業分野毎の基礎知識の提供、職業人と行動を共にして「職場」で働くということを経験するジョブ・シャドウイングやインターンシップの機会提供）

➢ソーシャルスキル・トレーニング（組織で働く上で共通して求められるコミュニケーション能力や知識について提供）を職業教育機関である専修学校等の協力を得て提供する。

②自分の進路について考える高校生や保護者、優秀な人材の獲得を考えている企業・業界に対して、企業・業界と職業教育機関が連携して「出口の見える教育」を進める推進校の取組みを推奨・普及する。なお、平成22年度は、医療、衛生、教育・社会福祉分野などの資格のある業種のガイドラインを作成し、推奨・普及する。

### ④成果の普及

大阪発「産学接続コース」推奨冊子を5,000部作成し、大阪府下の公・私立高等学校282校、大阪府、大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会等に配付し、広報展開を図る。

また、大専各のホームページに登載し、広報展開を行う。

<http://osaka-senkaku.or.jp/index.php>